豊田市旧簡易水道施設更新工事

（設計・施工一体型）

落札候補者選定基準

令和７年7月

豊田市上下水道局

【 目次 】

[第１章 落札候補者選定基準の位置付け 1](#_Toc188948106)

[第２章 落札者の決定基準 2](#_Toc188948107)

[２.１ 入札参加資格審査 2](#_Toc188948108)

[２.２ 技術提案審査 2](#_Toc188948109)

[２.３ 落札者の決定 2](#_Toc188948110)

[第３章 技術提案書審査の方法 4](#_Toc188948111)

[３.１ 基礎審査 4](#_Toc188948112)

[３.２ 非価格要素審査 4](#_Toc188948113)

[３.３ 価格審査 5](#_Toc188948114)

[３.４ 総合評価 5](#_Toc188948115)

[第４章 非価格要素審査において審査する点 6](#_Toc188948116)

[第５章 選考委員会 7](#_Toc188948117)

# 落札候補者選定基準の位置付け

豊田市旧簡易水道施設更新工事（設計・施工一体型）（以下「本事業」という。） を実施する事業者には、施設の整備、運営に関する専門的な知識やノウハウが求められる。このため、事業者選定は、価格及びその他の条件（性能、機能、技術等）によって落札者を決定する総合評価方式一般競争入札を採用する。

「豊田市旧簡易水道施設更新工事（設計・施工一体型）落札候補者選定基準」（以下「本選定基準」）は、総合評価方式一般競争入札により落札者を決定するため、発注仕様書の要求水準等の内容について参加者から提出された技術提案書を客観的に評価する基準として示すものである。

# 落札者の決定基準

落札者決定の主な手順は、次のとおりであり、その流れを図表２‑１に示す。

## 入札参加資格審査

参加者から提出された入札参加資格審査に関する提出書類を基に、公告文の「入札参加資格要件」に示した事項を満たしているかどうかの確認を行う。入札参加資格要件を満たしていることが確認された参加者のみ、次段階の技術提案審査に参加できるものとし、入札参加資格要件を満たしていない参加者は失格とする。なお、参加資格審査結果については全参加者に対して通知する。

## 技術提案審査

#### 基礎審査

技術提案書に記載された内容が本選定基準に示す基礎審査項目を全て満たしていることを確認する。

当該項目をいずれも満たしていることを確認した参加者のみ、次段階の非価格要素審査及び価格審査に進むことができるものとする。

#### 非価格要素審査

参加者から提出された技術提案書の提案内容を評価して得点化する。

#### 価格審査

入札価格を得点化する。

#### 総合評価

選考委員会は、非価格要素審査と価格審査の得点を合計して総合評価点を算出し、総合評価点の最も高い落札候補者を選定する。なお、総合評価点の最も高い提案が複数ある場合、非価格要素点が高い参加者を落札候補者、これも同点の場合当該者のくじ引きにより落札候補者を選定する。

## 落札者の決定

選考委員会における評価・審査の結果に基づいて、当市が落札者を決定する。

２．技術提案審査

1. 基礎審査

事業実施の公告

(参加者)

提案書類

の作成

１．資格審査

参加資格審査書類

の提出

資格審査

提案書類の提出

基礎審査

・　提案書類の確認

・　提案内容が要求事項を満たしているか確認

提案書類不備

発注仕様書要求水準を満たしていない

　　失格

失格

(2) 総合評価

非価格要素審査

・審査・得点化

価格審査

・入札価格の確認

・得点化

総合評価点の算定

落札候補者の選定

落札者の決定

・公告資料の閲覧

・公告及び関係資料に関する質問・回答

選考委員会

提出書類不備

資格要件不備

予定価格超過

無効

低入札基準価格以下

低入札価格調査

図表２‑１　落札者決定フロー

# 技術提案書審査の方法

## 基礎審査

参加者が提出した技術提案書により、次に示す基礎審査項目を満たしているかどうかを豊田市上下水道局上水運用センター（以下「当市」という。）及び選考委員会が確認する。

* 提出書類の整合確認
	+ 必要な書類がそろっているか。
	+ 書類間の整合が図られているか。
* 技術提案書の要求水準確認
	+ 技術提案内容が発注仕様書要求水準を満たしているか。

## 非価格要素審査

#### 審査項目及び配点

非価格要素審査の審査項目及び配点は、図表３‑１に示すとおりである。採点は選考委員会の各委員の平均点とする。

図表３‑１　非価格要素審査における審査項目及び配点

|  |  |
| --- | --- |
| 審査項目 | 配点 |
| １　事業計画・実績に関する事項 | 　　　　２０点 |
| ２　設計・施工・工程等に関する事項 | ２４点 |
| ３　維持管理に関する事項 | ８点 |
| ４　環境配慮・地元貢献に関する事項 | ４点 |
| ５　その他に関する事項 | ４点 |
| 審査項目点数合計 | ６０点 |

#### 審査項目の審査基準及び得点化方法

図表３‑１に示す審査項目の審査基準及び得点化方法は、図表３‑２に示すとおりである。

図表３‑２　審査項目の審査基準及び得点化方法

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価 | 審査基準 | 得点化方法 |
| Ａ | 特に優れている | （配点×１） |
| Ｂ | 優れている | （配点×０.７５） |
| Ｃ | 標準的な水準 | （配点×０.５） |
| Ｄ | やや不十分 | （配点×０.２５） |
| E | 不十分 | （配点×　０） |

#### 非価格要素点の算出方法

非価格要素点については、６０点満点として、次の方法で得点化する。

非価格要素点＝審査項目点数の合計値

※得点は小数点第 3 桁を四捨五入して、小数点第 2 桁まで算出する

※選考委員会の各委員の平均点とする

## 価格審査

本事業の入札価格（消費税抜き）について審査する。

価格点については、４０点満点として、次の方法で得点化する。

価格点＝４０点×（最低入札価格／入札価格）

※得点は小数点第 3 桁を四捨五入して、小数点 第 2 桁まで算出する

※最低入札価格：参加者から提出された入札価格のうち最低の入札価格

※入札価格：参加者から提出された入札価格

## 総合評価

非価格要素点と価格点の合計値を総合評価点とし、総合評価点の最も高い参加者が複数ある場合には、非価格要素点が高い方の参加者を落札候補者とする。なお、非価格要素点も同点の場合は、当該者にくじを引かせて順位を決定する。当該者のうちくじを引かない者があるときは、選考委員会事務局の職員が代わりにくじを引き、順位を決定する。

総合評価点＝非価格要素点＋価格点

# 非価格要素審査において審査する点

各審査項目について、審査基準に基づき審査を行い、その内容に応じて 5 段階評価（A～E）により得点化する。なお各項目については、評価の視点に対して、参加者の具体性、信頼性かつ実現性の高い提案を望ましいものとする。

図表４‑１　審査項目の採点基準及び得点化方法

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 審査項目 | 評価の視点 | 配点 | 審査基準 |
| １　事業計画・実績に関する事項（様式１：２枚以内） | １－１ 【事業実施方針】本事業を理解し、設計・施工一括発注方式の利点を活かした実施方針について、具体的な提案が示されているか。 | ８ | ２０ | A　特に優れているB　優れている　C　標準的な水準D　やや不十分E　不十分 |
| １－２ 【事業実施体制】本事業の実施体制（DB実績や役割分担を含む）、発注者との連絡体制について、具体的な提案が示されているか。 | ８ |
| １－３ 【企業の施工実績】地方公共団体が発注する水道事業又は工業用水道における類似（設備工事）・同規模以上の施工実績件数、工夫点等の特徴が十分であるか。 | ４ |
| ２　設計・施工・工程等に関する事項（様式２：２枚以内） | ２－１ 【設計計画】設計方針、設計プロセス、照査計画等について、具体的な提案が示されているか。 | ８ | ２４ |
| ２－２ 【施工計画】地域特性や水運用等の制約事項を考慮した施工計画、工事の安全管理、品質管理及び試運転計画について、具体的な提案が示されているか。 | ８ |
| ２－３ 【工程管理計画】本事業における工程管理、工期遅延リスクとその対応策について、具体的な提案が示されているか。 | ８ |
| ３　維持管理に関する事項（様式３：１枚） | ３－１ 【維持管理計画】完成・引渡し後の供用期間を含めた経済性、故障時及び事故時における対応力の優位性等について、具体的な提案が示されているか。 | ８ | ８ |
| ４　環境配慮に関する事項（様式５：１枚） | ４－１ 【環境対策計画】本事業における環境配慮事項及びSDGsへの取り組みについて、具体的な提案が示されているか。 | ４ | ４ |
| ５　その他に関する事項（様式７：1枚） | ５－１ 【その他特筆すべき創意工夫】本事業において当市水道が抱える運用面の課題について、効果的となる具体的な提案が示されているか（例：地元企業の活用、DX活用による効率化、地域貢献等）。 | ４ | ４ |

# 選考委員会

選考委員会は、選定基準の作成や、選定基準に従い参加者の技術提案書を適切に評価し落札候補者を選考するものとする。また、必要に応じて参加者に対しヒアリングを実施する。なお、選考委員会のメンバーは図表５‑１のとおりとする。

図表５‑１　選考委員会メンバー

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 所　　　　属 | 氏　　　名 |
| 委員長 | 豊田市上下水道局 副局長 | 中根　武人 |
| 委員 | 豊田工業高等専門学校教授 | 松本 嘉孝 |
| 委員 | 豊橋技術科学大学准教授 | 横田 久理子 |
| 委員 | 豊田市上下水道局 専門監 | 中川 啓二 |
| 委員 | 豊田市上水運用センター所長 | 浦野 大一郎 |